

## 大長野町ふれあいいきいきサロンとの市長と能ん美りカフェトーク

日 時 令和6年6月27日（木）10:00～11:00

会 場 大長野町 啓誘館

参加人数 40人

○世話人代表 西田さんご挨拶

○はじめに

### 【市長】

・長野小学校、そして長野保育園の跡地のこの場所をイベント等でご活用いただいていることについて、お礼申し上げます。

・今年の1月1日午後4時10分、能美市でも震度5強を観測した。初めて津波警報が出されて、海岸沿いの方たちが丘陵地に向かって車で避難し、大渋滞が発生していた。結果的に能美市内での津波は20cmしかなかった。石川県西方沖にある活断層が動くことによって、津波が発生した場合、能美市の海岸に到達する津波は最大3.6mであると想定されている。3.6mだと、北陸自動車道を越えることはないのですが、大長野に津波が来ることはないかと思う。ただ、あくまでも予想であり、実際にどれだけの波が来るのかは分からないので、津波警報が発表されたという場合には、逃げていただくほうが賢明なのかなという思いはしている。様々な災害が起こっても市民の生命と財産を守るようにしっかりと取り組んでいく。

・自然災害以外だと、最近熊がよく出ている。餌を探してうろうろしているのかと思っていましたが、この間の新聞に親離れした子熊や発情期の雄が雌を探して出沒していると書かれていた。能美市では、熊が人に被害を加えないようにカメラや檻を設置して対応している。

・能美市の高齢化率は26%である。これまでは、高齢者への施策を「いきいきシルバープラン」と言っていたが、65歳以上だと皆さんまだバリバリ活躍されている。「65歳以上の人が病気になったらどうするか」「介護を受けるようになったらどうするか」ということ

を施策の中心にするのではなく、「65歳以上の人たちにもっと頑張ってもらうために何を  
していけば良いか」という方向とし、名前も「シルバープラン」から「プラチナプラン」  
に変えた。「いかにまちのために、町民・市民のために頑張ってもらえるか」、そして「ず  
っと健康で居続けてもらえるか」ということをプランに加え、また「少し弱っている人た  
ちをどう支えてもらえるか」というような施策に変えている。

・最近は一人暮らし世帯が増加しており、高齢者だけではなく若い人も一人暮らししてい  
る方が多い。一人暮らしの方が具合が悪くなって、誰かに救急車を呼んでもらった場合、  
救急隊は具合が悪くなった人の状態やどんな薬を今まで飲んでいたか、どんな病気にかか  
ったか、緊急連絡先はどこかということ把握して、病院に連れていかなければならない。  
ところが本人は具合が悪く、伝えることができないので、その対応策として、情報をコン  
ピュータに事前に入れておき、救急隊が必要な情報を取り出せるように取り組み始めてい  
る。また、電子カルテは一人暮らしの人だけではなく、大きな災害があったときにも役  
に立つ。東日本大震災のときに津波でカルテが流され、診療情報がわからなくなったこと  
があり、電子カルテ化が広まった。能登半島地震でも倒壊により、紙のカルテが取り出せ  
なくなることが発生したが、電子カルテによって、被災された方に避難先の病院でも薬が  
出せるようになった。今、能美市では、お医者さんのご協力のもと、市民の皆さんの医療  
情報や介護の情報を電子化しようとしている。

・デジタル公民館にも取り組んでおり、市内の80以上の公民館にW i - F i を整備した。  
学校で使っているパソコンを持った子どもたちが勉強したり、若者たちがゲームをしたり、  
皆さんのような世代がいきいきサロンをしていたり、多世代がいつも集うような公民館に  
したいと考えている。

・オンライン診療も公民館で行おうとしている。例えば慢性疾患や高血圧、糖尿病の薬を  
毎日飲んでいる方は、1か月に1回、病院で診察を受けないと薬がもらえず、通院や待ち  
時間の負担が生じている。オンライン診療だと、公民館に行ってカメラの前に座れば、画  
面の向こう側のお医者さんが診察を行ってくれ、薬も公民館まで運んでもらえるようにな  
る。ただ、課題が多くあるので、まず市内で5か所をモデルケースとして取り組み、生じ  
た課題を解決してから、大長野町にも広げられればと思っている。

・デジタル家電による見守りにも取り組み始めている。例えば、空気清浄機の中には様々  
なセンサーが入っているので、住人の動きがない場合、通報を行うような仕組みを考えて  
いる。なかなか賢く、「おはよう」「ご飯を食べましたか」など会話することができるも

のもあり、お金はかかるが、声を自由に選ぶこともできる。最終的には「石川県に大雨警報が出ました」や「能美市から避難指示が出ました」というような、危機管理的な情報も話すようになる予定である。デジタルの力を使って、ほかにも様々なことに取り組み、皆さんの生活をより安全・安心、快適にしようとしているので、もしこうなると便利だとか、ありがたいなということがあれば、後ほど聞かせていただきたい。

#### ○意見交換

【参加者】大長野運動広場を使用している子どもたちが時間を確認できるように、啓誘館の煙突のように出ている部分に時計をつけてもらえないか。大長野町で設置という考え方もあると思うが、運動広場は市の管理であり、広場を利用する人たちに必要な時計となるので、市の方で設置をお願いしたい。

【市長】ご要望としてお聞きするが、なかなか難しい。

【参加者】先ほどのお話で、電子カルテで避難した人たちの診療情報がすぐ引き出せるということだったが、電子カルテでどんな情報が共有されるのか。

【市長】市内に病院が3、クリニックが25ぐらいあるが、全てにまず電子カルテに対応してもらえるように制度を作って、取り組んでいる。ただ、高血圧や軽いけがの情報であれば、あまり問題にならないが、がんや重篤な病気の場合は、情報を共有したくないという声もあるかと思う。個人情報の線引きをして、しっかり管理をしていこうと考えている。

【市長】私から、もう少しお話しさせていただくと、幸福度や暮らしやすさ等を市民に調査したウェルビーイング指標によると、市民が足りないと感じていることが3つあった。1つ目は、遊び・娯楽の場所が少ない。2つ目は、買い物・飲食をする場所が少ない。3つ目は、交通の移動手段が不便ということだった。移動手段でいうと、能美市にはのみバスがある。連携バスと循環バスがあって、連携から循環、循環から連携に乗り換えても100円しかかからない。ぜひ、のみバスに乗って様々な場所へ行ってもらいたい。ただ、目的地がバス停のそばではないから、もっと便利にしてほしいという要望があり、ライドシェアの取り組みを考えている。タクシー運転手など二種免許を持っている人がだんだん少なくなると、移動に不便だという声が大都市圏を中心に広まったため、全国でライドシェアが広がっている。能美市でもライドシェアを行おうとしているが、車種や運転手等、様々

な課題があるので、まずはライドシェアの管理・運営を委託する会社の選定等を行い、対応しようとしている。

また、スマートフォンで注文すると、公民館まで届けてもらえるオンライン物流も行おうと考えている。ただ、届いた商品の管理や冷凍商品の保管方法等の問題があるので、まずはモデルケースを作って始める予定である。生活上で不便なことや必要なものがあれば、お聞かせいただければと思う。

【参加者】今は車に乗っているが、免許証を手放した場合、最初に困るのは買い物である。日常の食料品が買いに行けない。ここから寺井まで歩いていくと、行きは良いが、帰りは荷物があるから大変である。1週間に一度でいいから、移動販売が来てくれると嬉しい。

【参加者】移動販売が来ることによって、その時間に町内の人たちと顔を合わせてしゃべることもできる。

【市長】今おっしゃったとおり、大事なのは買い物するということだけではなく、近所の人と会って話をする事だと思う。移動販売を行っている会社があるので、もし大長野の皆さんご希望があれば伝えてみる。ただ、個人個人の商品の好みもあるので、それを小さな車に全て乗せることは難しく、また売れ残ると結果的に料金が高くなってしまうので、必要なものを注文して届けてもらうという仕組みのほうが良いのではないかと思う。また、ご要望を聞かせしてほしい。

【参加者】お昼に市役所から室内放送が流れているが、外では聞こえない。草むしりを終えて家に入るとお昼を過ぎていることがある。昔は12時にサイレンが流れていたと思うので、外でも聞こえるようにしてもらえないか。

【市長】防災行政無線の聞こえないエリアがあったり、音質が悪かったりということもあり、最新のタイプに室内機を交換するとともに屋外のスピーカーも新しくした。防災行政無線に対して、いろいろな意見があり、無線を流すなという方もいる。問題はどこまで情報を流すかである。必要な情報は室内だけで良いという方もいるので、一度皆さんにご意見を伺いたい。余談だが、順次外灯をLEDに替えて明るくなったが、とあるお宅から前は外から家の中が見えなかったが、LEDになって家の中が見えるようになって困っているという声があった。様々な意見があるので、多くの市民の皆さんの声を聞きながら、取り組んでいきたいと思っている。

【参加者】大長野体育館が今、全然使われていないが、解体や宅地整備の計画等はあるのか。

【市長】まず、まだ具体的なことは決まっていない。現在、倉庫として使っているが、何か利用の希望があれば教えてほしい。

【参加者】特にはないが、宅地化されれば、戸数が増えてにぎやかになる。

【市長】人口が減るとコミュニティが守れなくなり、町会の運営も厳しくなるので、家を建てることのできる場所が必要である。今、市内で宅地開発をすると、すぐ完売状態となる。また、企業誘致がすごく好調、大きな会社が市内に次々と進出しており、そこで働く人を確保するために住む場所の確保も必要となる。大長野は便利だと思うので、できれば宅地化を考えていきたい。

企業誘致の話をさせていただくと、多額の投資が行われた半導体工場が完成した。能美市の税収が増えることになり、老朽化した公共施設の建て替えや、皆さんの生活を便利にするための資金として使うことができる。他にも進出予定の企業があり、能美市内には、世界的に名前が知られている会社の事業所がたくさんある。本当にありがたい話で、企業誘致とは重要な施策の一つである。

また、いわゆるものづくり企業というイメージがあるかもしれないが、福島町に進出した会社では、従業員の8割以上が女性である。男性だけでなく、女性が働ける場所が増えることはありがたい。

【参加者】タイガーの跡地はどうなるのか。他のタイガーの跡地では、大概スーパーができています。

【市長】会社で今、活用を考えられていると思う。能美市では最近、ドラッグストアの店舗が多い。

【市長】福島グランパークに総合商業施設ができる。どこまでお応えできるか分からないが、どのようなお店がほしいかお聞きしたい。

【参加者】主婦としては、食料品を売っているお店がほしい。

【参加者】食事するところ。

【市長】皆さんはあまり利用されないかもしれないが、私が要望としてよく聞くのは、ハンバーガーチェーンやコーヒーチェーンである。実は、能美市内にはファストフードのお店がない。先ほどのウェルビーイング指標で、市民は「遊び・娯楽」の部分が足りないと

感じていると話したが、市内には、いしかわ動物園や手取フィッシュランド、松井ベースボールミュージアム、九谷陶芸村等がある。また、「買い物・飲食」する場所も結構あると思っている。

【参加者】大長野町内に空き家がいっぱい増えた。何とかできないか。

【市長】市内には2万世帯あるが、我々が今、市内で確認している空き家の数は約730軒である。ところが、空き家バンクに登録してある空き家は10軒ないぐらいである。市としても空き家を活用させてほしいと思っているが、そのまま持っておきたいという空き家の所有者がほとんどである。県内に19の市町の中で、人口当たりの外国人が住んでいる比率が能美市はナンバーワンであり、今1,500人ぐらいいらっしゃる。市内で一番多いのはベトナム人で、次が中国人である。ベトナム人は会社で働いている人が多く、中国人はJ A I S Tに通う留学生が多い。留学生は寮に住むが、会社で働いている人は空き家を活用して住まわれている。空き家所有者で空き家バンクに登録していない人をご存じであれば、登録して活用してもらえようお声がけをしてもらえれば嬉しい。

【参加者】空き家の取り壊しで土地の固定資産税が6倍にもなるので、壊さない人もいる。近所の迷惑を考えると取り壊そうとしても、潰れかけている不良空き家だと取り壊しの補助金が50万円出るが、単に老朽した空き家だと10万円しか出ない。まち整備課に行って、簡単に取り壊しができそうな建物を壊す補助金の方が高いのはおかしいのではないかという話をしてきた。

【市長】持ち主が責任を持って自分で空き家を取り壊すのが基本だと思う。皆さんから集めた税金を使って空き家を壊すのは違うのではないかと思うが、一方で危険な空き家を放っておくと、別の被害が起こるので、そのような制度となったわけである。放っておくと危険な空き家は専門の有識者の人たちに判断してもらって、行政代執行するというようなことも行っている。

○大長野町 西田町会長 ご挨拶

○閉会